

# 平成28年度 青少年の体験活動推進企業表彰



## 体験活動で伸ばす、 社会を生き抜く力

青少年の体験活動の充実に向けた  
企業の取組



文部科学省

### 受賞企業一覧

#### 文部科学大臣賞

- 【大企業部門】**  
 ぺんてる(株)  
 キヤノンマーケティングジャパン(株)  
 ●校舎の思い出プロジェクト
- 【中小企業部門】**  
 ワイズティーネットワーク(株)  
 ●宇都宮市立中央小学校 紅茶部

#### 審査委員会特別賞

- 【大企業部門】**  
 (株)ダスキン  
 ●学校教育支援活動  
 ～みんなでつくろう キレイをいっしょに～
- KDDI(株)  
 ●KDDI「聴覚障がい者向け」IT教室
- 阪急阪神ホールディングス(株)  
 ●阪急阪神ゆめ・まちチャレンジ隊  
 ～多岐にわたる事業特性を活かし、子ども達の夢を育む～
- 【中小企業部門】**  
 株式会社浜野製作所  
 ●墨田区のものづくり中小企業発  
 オープンファクトリーイベント「スミファ」

#### 審査委員会奨励賞

- 【大企業部門】**  
 アサヒ飲料(株)  
 ●「カルピス」こども乳酸菌研究所
- MSD(株)  
 ●サイエンス・スクール～科学者たちのルールの授業
- オリンパス(株)  
 ●オリンパス「科学する心を育む」体験活動
- (株)タカラトミー  
 ●出張タカラトミー!100ねんあそび。～おもちゃメーカーのお仕事～
- (株)テレビ東京  
 ●「テレビ東京の校外学習」～テレビ局の仕事 本物を体験する～
- (株)東京証券取引所  
 ●「JJPX起業体験プログラム」
- (株)りそなホールディングス  
 ●子ども向け金融経済教室「りそなキッズマネーアカデミー」
- サントリーホールディングス(株)  
 ●水育「森と水の学校」～未来に水を引き継ぐために～
- 住友生命保険相互会社  
 ●スマイアフタースクールプロジェクト～子どもたちの放課後に体験活動の時間を～
- 住友林業(株)  
 ●富士山「まなびの森」環境学習支援プロジェクト
- 東芝テックソリューションサービス(株)  
 ●今日からあなたもレジ博士～バーコードのしくみ・レジのしくみを知る～
- 日本電信電話(株)  
 ●NTTドリームキッズ～ネットタウン2015～
- 日本郵便(株)  
 ●「手紙の書き方体験授業」支援等のお手紙プロジェクト
- パナソニック(株)  
 ●次世代育成支援プログラムリスーピア
- 三井物産(株)  
 ●三井物産「サス学」アカデミー
- 三菱重工業(株)  
 ●三菱重工「種子島宇宙教室2015」
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)  
 ●株の力
- 【中小企業部門】**  
 (株)林農産  
 ●林さんちの米作り体験学習 世界一分かりやすい食育授業

平成29年3月

担当: 文部科学省生涯学習政策局青少年教育課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL: 03-5253-4111(代表) <http://www.mext.go.jp/>

生活文化

# 「校舎の思い出プロジェクト」を2社共同で実施

## ぺんてる(株) キヤノンマーケティングジャパン(株)

昭和40年代後半から50年代にかけて児童数が急増し、数多くの小学校が建設された。これらの校舎の老朽化対策と地域の防災機能強化の観点から、現在各地の学校で建て替えが進められており、通い慣れた校舎で卒業式を迎えられない子供たちも少なくない。これを受け、ぺんてるとキヤノンマーケティングジャパン(以下「キヤノンMJ」という。)は共同で、建て替えや統合により取り壊される小学校を対象に、校舎での最後の思い出づくりをサポートするプロジェクトをスタートさせた。

対象の小学校では、児童が壁に巨大な絵を描き、校舎を彩る。その壁画は大判ポスターにして新校舎に飾られるほか、壁画を作成する様子を「思い出写真係」となった子供たちが一眼レフカメラで撮影し、それをフォトブックにして図書室に残す。このイベントに必要な画材と額をぺんてるが寄贈し、キヤノンMJはカメラの貸し出しや大判ポスター、フォトブックの制作・寄贈を行う。

本プロジェクトは全校児童を対象としており、主に授業の一環

として実施していただいているため、小学校教育における体験活動の推進にも貢献している。また、校舎のいたるところに絵を描く体験と一眼レフカメラで写真におさめる体験を通して、子供たちの手で思い出を作る<>思い出を残す<>ことができる。

その体験に不可欠な「画材」はぺんてる、「カメラ」はキヤノンの主力商品であり、まさに本業の資産を活かした体験活動となっている。さらに、普段有料のカメラレクチャーの講師を担当している社員が、毎回イベント前にカメラの使い方を子供たちに教えるなどの、技術的支援も行う。

取り壊される校舎を舞台とした、通常ではできない学校行事・体験活動を支援することで、将来にわたり在校生や卒業生、保護者、教職員、自治体関係者、地域住民の心に「校舎の思い出」を残してもらおう。また、思い出づくりの体験を通して地域の絆を創出する。慣れ親しんだ学び舎が取り壊されるという大きな出来事を迎えるにあたり、子供たちはお世話になった校舎への感謝の思いを一層強く持つことができる。



### ■内容・進行

本プロジェクトは授業や学校行事の一環として行うことが大半のため、どのようなイベントを実施するか、どのように進めていくかという具体的な内容・進行については、学校主体で検討していただき、企業としては学校側の意向をできる限り尊重しサポートを行う立場をとっている。学校によって校風・方針その他が異なるため、各学校にとって一番良い形、一番子供たちにとってためになる形で進められるように配慮している。

学校との打ち合わせは実際のイベント実施希望時期の6か月前に開始し、その後時間をかけて学校と打ち合わせを行い、どのようなイベントにするかを決定している。また、学校にはたくさんの行事があり先生方も常に忙しいため、企業側で出来る限りのサポートを行うように心掛けている。ぺんてるとキヤノンMJでは、プロジェクトに関して今後の改善点などについて話し合いを定期的に行い、お互いの視点を尊重し、異業種コラボの特徴を生かしながら適宜改善を行っている。

### ■情報発信の努力

プロジェクトを実施した学校については、ぺんてる・キヤノンMJ各社のWEBサイトに、実施の様子や参加された先生・PTAの皆さまのコメントを掲載。これによって、学校の歴史や校舎の取り壊しの背景、イベント中の子供たちの様子、先生・PTAの方々の思いなどを多くの方々に目にしていただく機会を提供している。

### ■社内理解の醸成

ぺんてる、キヤノンMJともに、社内報や社内のイントラネットを通じて、適宜プロジェクトの紹介やプロジェクトに関するトピックスを紹介し、社内での認識向上に努めている。また、地域の営業拠点と連携し、仙台市立東六郷小学校で実施した際には、仙台営業所長(ぺんてる)・仙台支店長(キヤノンMJ)が閉校式典に参加するなど、小学校や市の教育委員会の方々と交流を行った。今後も、プロジェクト実施の際には地域の営業拠点に積極的に案内し協力するなど、社員を巻き込んだプロジェクトの施策を検討していく。

生活文化

# 宇都宮市立中央小学校の紅茶部をサポート

## ワイズティーネットワーク(株)

宇都宮市は、平成23年に紅茶の消費量日本一(総務省調べ)となった。その際、以前から、紅茶についての講演や出前事業等で訪問していた宇都宮市立中央小学校の校長先生と児童からは、「宇都宮市に生まれて、とても誇らしく思えた」との報告を受けた。また、学校から「児童に、より深く紅茶にかかわらせてほしい」との依頼があり、平成25年に正式に紅茶部が発足し、弊社社長が顧問となった。紅茶部の目指すところは「郷土愛」と「おもてなしの心」。そして、弊社が掲げる「紅茶のような人になろう!」(温かで、優しく、人を笑顔にさせ、癒しを与える、礼儀正しい人になろう)に沿って、下級生から上級生までをミックスした縦割り班をつくり、さらに班長を決めて、班のまとめ役や新入部員のフォローも任せている。今では全校児童の5人に1人が参加するほどの盛り上がりとなっている。

学校側からは、「礼儀正しくなった」「言葉遣いが良くなった」「人に優しくなった」等のコメントがあった。保護者側からは「早起きす

るようになった(紅茶を朝淹れる為)」「家庭での会話も増えた」等のコメントや、子供が祖父母に紅茶を淹れて祖父母が感激した等の嬉しい報告もあった。

小さい頃から「本物」を知る機会を創出する。弊社が創業当初より街づくりに力を入れているため、子供たちにも地域への愛着を育む機会を随時与えることが出来る。(小規模校で存続自体も騒がれていた学校の魅力度UPに貢献する。)弊社はもともと、新聞・TV・雑誌等からの取材が多いので、その対象として紅茶部の児童の活動にも注目いただく事で、子供たちも得難い経験を数多くしている。その結果、子供たちのモチベーションも上がり、同時に学校と地域(この小学校に入学しなかったら紅茶部に入れなかった)への愛着もより高まっている。



### ■内容・進行

まずは宇都宮市教育委員会との連携により、「放課後子供教室」事業の一環として実施をすることで、ティーポットや電気湯沸かしポット等の備品を用意できた。結果、道具購入の負担が無くなり、誰もが参加できる部となった。また、顧問一人では安全面の心配があるので、発足当初よりボランティアリーダーと保護者の見守りスタッフが常時7名以上で活動をサポートをしてくれている。年間のスケジュールも、年初に会議をして大枠を決め滞りなく進行できるようにしており、連絡体制もサポートスタッフの尽力により、急な連絡やお知らせに関してもスムーズに全員に届くようなシステムを構築して頂いている。そのペースに加えて、弊社社員が実際の運営に深くかわかる事により、持続可能な組織運営が可能になっている。活動の特性上、やけど等のリスク、人数が多すぎる故のトラブルも十分に考えられるが、活動中の怪我や事故が一度も起きず済んでいるという理想的な状況で推移している。

### ■情報発信の努力

小規模校・街のど真ん中にある学校としての特色を出せるよう、近隣に本社のある弊社が子供たちと深く関わる事により、街なか活性のシンボルとしての役割も担ってもらえるようになった。また、紅茶部への参加率の高さと、子供たちの充実度が関係各位に伝わり、一般のメディアだけでなく、日本教育新聞・よみうりKODOMO新聞・朝日小学生新聞等にも取り上げて頂き、全国へ発信して頂いていることもあって、県外からの見学者も多い。もちろん地域での認知度も高く、地域の保護者だけでなく、近隣の住民からも暖かい声を掛けて頂く事で、弊社社員のモチベーション向上にもつながっている。宇都宮市も、食育や教育のイベントの目玉として紅茶部に声を掛けて頂いており、市の自慢の活動としても広報誌等やラジオ、TV等でPR頂いている。

### ■社内理解の醸成

弊社は小さな会社であるため、すべての活動は全員の相互理解と共に行われている。よってこの紅茶部についても「講師」「スイーツ」「資料」「演出」「準備」と全員がそれぞれ関わられるようにしているので、子供たちと保護者の生の声を全員が喜びとして感じる事が出来る。また、年に最低一度は弊社のティールームで紅茶部の活動を行うなど、全社員が紅茶部の児童と交流できる機会も設けている。

# 審査委員会特別賞 [大企業部門]

自然環境

## 学校教育支援活動 ～みんなで作ろう キレイをいっしょに～



学校現場において、1日15分の掃除の時間は、1年間にすると約3,000分、45分授業に換算すると、約66時限もの授業時間に相当する。この掃除時間を、子供たちの力を伸ばす時間として有効に活用できないかと考え、東京学芸大学大竹美登利教授と「学校掃除によって育成される力」についての共同研究を行い、学校掃除によって◎段取り力◎観察力◎主体性◎責任感◎リーダーシップ◎コミュニケーション力などの育成、向上につながる事がわかった。これらの力は、掃除用具の使い方、掃除手順などの基礎・基本を理解した次のステップで育成されることも明らかになった。

掃除についての指導計画(目標)を設定し、継続的に目標達成に向けて活動を行うことが重要だということもわかった。そこで、現在の「出前授業」での学びや体験に加え、さらに継続的な活動につなげるための教員サポートを行っている。

掃除を本業とするダスキンだからこそできる「掃除の基礎基本」「掃除用具の正しい使い方のスキル」指導はもちろん、「喜びのタネをまこう」という弊社の経営理念を実践すべく「次世代を担う子どもたちに掃除の大切さを伝えたい」「掃除を通して子どもたちの力を伸ばしたい」という思いで、教育貢献活動に取り組んでいる。

<http://www.duskin.co.jp/torikumi/gakko/>



(株)ダスキン

科学技術

## KDDI「聴覚障がい者向け」IT教室



障がいを持つ学生や生徒への「IT教育の支援」を通じて、障がいの人生の幅(職業選択の幅、趣味としての幅)を広げること、障がい者が抱える自らの課題に対し、ITを駆使して自分達の手で課題解決を図ることで、「自助努力の重要性」、「相互コミュニケーションの大切さ」、「チームワーク」、「やれば出来る!」を体験してもらいたいと考え企画。一方的な授業ではなく、自分達で考えるプロセスを踏み、かつ情報発信する機会を与えることで、よりIT(理系分野)に興味を持ってもらい、ひいては日本社会全体の理系離れに歯止めをかける一助となればとの思いで実施した。

参加した生徒全員が、各自でアプリを制作できるよう参加者各自にコンピュータを割り当てることで、世界に一つしかない自分だけのオリジナル・アプリを制作してもらった環境を整えた。自分が作成したアプリを自分のスマートフォンにインストールし、実際に利用出来たことで、「やれば出来る」という経験を得ると共に、自分たちの将来の進路選択、もしくは趣味としてのIT活用に確実に興味を持ってもらうことができた。

その結果、「将来、IT関係の仕事に就きたいと思った」、「すごく自信が持てた」、「今後も、趣味としてやってみたい」といった意見があがった。

<http://news.kddi.com/kddi/corporate/csr-topic/2015/03/11/993.html>



KDDI(株)

生活文化

## 阪急阪神ゆめ・まちチャレンジ隊 ～多岐にわたる事業特性を活かし、子ども達の夢を育む～



私たちは、未来へつなぐ「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。

子供たちが将来なりたい職業を考える時、自分が住むまちにどのような会社や職業が存在し、自分の暮らしとどのような関わりがあるのかを広く理解する機会は少ない。そこで、鉄道事業を母体に、都市交通、不動産、エンタテインメント、旅行、国際輸送、ホテルなど、多岐にわたる事業を展開する当社グループならではの社会貢献活動として、子供たちが身近な仕事やサービスの存在に気付くとともに、仕事に携わる喜びや、最後までやり遂げる達成感を味わうことができる、小学生向けの夏休みの体験プログラムを平成22年より実施している。

本活動では、普段入ることができない電車の工場・車庫見学や、TV・ラジオ・映画・広告・舞台小道具の制作体験、ホテルスタッフ直伝の調理・サービス体験など、当社グループが長年にわたって提供してきた事業やさまざまな施設、多様な人材を活かして、子供たちに「多彩なお仕事体験」や「学び」の場を提供している。平成22年からこれまで40社で累計175プログラムに7,000人以上の小学生を無料招待。参加保護者の満足度は95%に達し、スタッフ側のやりがいにもつながっている。

当社グループは社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として本活動を実施しており、今後も未来の地域社会を担う次世代の子供たちが、夢を持って健やかに成長する機会の創出に貢献したい。

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/top.html>



阪急阪神ホールディングス(株)

# 審査委員会特別賞 [中小企業部門]

職業仕事

## 墨田区のものづくり中小企業発 オープンファクトリーイベント「スミファ」



日本の製造業は後継者不足や分業化の弊害を始めとする様々な課題を抱えており、これを解決するには長期的かつ包括的な改革が必要である。

そんな中、近年、製造の現場を公開し、一般の人々に体験してもらう「オープンファクトリー」という取り組みが注目を集めている。墨田区は日本でも有数のものづくり企業が集積する地域だ。このような背景から企業間のネットワークが非常に発達していることも、同地域の特徴。地元の手後継者を中心に結成された「配材プロジェクト」という組織が墨田区から相談を受け、墨田区のオープンファクトリーイベント「スミファ」が平成24年より開催されている。

当社は板金・プレス加工を中心とした金属加工業を営んでおり、設計開発から部品加工、最終製品の組立まで一貫通で様々な製品を製造している点を強みの一つとしている。設計開発機能と製造現場が一体化した企業で培われる設計力こそ、新しい製品を開発する上で必要になる。次世代を担う青少年が製造業の魅力と課題について学ぶことを目的として、本年度のスミファでは工場見学と当社で開発した対戦型ロボット「風神」の製造過程を体験できるワークショップを実施した。

<http://www.sumifa.jp/2015/fact04.html>



株式会社浜野製作所

平成28年度  
青少年の体験活動推進企業表彰

# 審査委員会 奨励賞 [大企業部門]

## 職業 出張タカラトミー!100ねんあそび。 ～おもちゃメーカーのお仕事～



(株)タカラトミー

持続可能な社会・共生社会の形成のため「100ねんあそび。」を合言葉に玩具を教材にしたプログラムを展開。社員とのコミュニケーションを通じて、子供たちの勤労観・職業観などの社会性を育み、夢の実現を手伝うキャリア教育をねらいとする。

[http://www.takaratomy.co.jp/eco/educational\\_csr/](http://www.takaratomy.co.jp/eco/educational_csr/)



## 科学 三菱重工 「種子島宇宙教室2015」



三菱重工業(株)

種子島でのロケット打上げや工場に小学5・6年生を招き、座学だけでなく、実際にモノに触れ、体験することを重視した理科教室。当社エンジニアが講師役となり、子供たちの夢を後押しし、ものづくりへの関心を抱いてもらうプログラムを平成26年から継続。

<http://www.mhi.co.jp/news/story/csr151008.html>



## 自然 環境 オリンパス 「科学する心を育む」体験活動



オリンパス(株)

観察をとおしてより多くの子供たちに科学の楽しさを体験してもらう様々なプログラムの提供と、自然観察の研究を応援する「自然科学観察コンクール」を開催することで、子供たちの科学する心を育てている。

<http://www.olympus.co.jp/jp/event/wakuwaku/>



## 職業 「JJPX起業体験プログラム」



(株)東京証券取引所

小学生～大学生を対象に、模擬店ビジネスを行う株式会社を擬似的に設立・経営する体験等を通じ、自ら学び・自ら考えるなどの「生きる力」を育むことを目的とする実践型の起業教育。全国の学校や地方自治体との共同プロジェクトとして実施している。

<http://www.jpjx.co.jp/learning/education/entrepreneur/program/>



## 自然 環境 水育「森と水の学校」 ～未来に水を引き継ぐために～



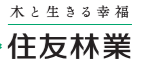
サントリーホールディングス(株)

自然の中での体感・発見・感動をとおして、自然の素晴らしさ、水や森の大切さに気づき、未来に水を引き継ぐために自分たちがなにかできるのかを考える、自然体験プログラムを実施。

<http://mizuiku.suntory.jp/gakko/>



## 自然 環境 富士山「まなびの森」 環境学習支援プロジェクト



住友林業(株)

五感を使った体験を通じて樹木や野生生物の生態を感じ取ることで、自然との共存関係のあり方について、自ら気づき、考えてもらうことを目的とする。また、環境に配慮した暮らしについての学習も行う。

<http://sfc.jp/information/manabi/education/>



## 職業 子ども向け金融経済教室 「りそなキッズマネーアカデミー」



(株)りそなホールディングス

毎年夏休み期間、グループの従業員が講師となり、「お金の流れ」や「お金の役割」「働くことの大切さ」などを楽しみながら学習できる子ども向け金融経済教室を開催。今年で13年目を迎え、受講生は累計28,000名を超えている。

<http://www.resona-gr.co.jp/academy/>



## 職業 スミセイアフタースクールプロジェクト ～子どもたちの放課後に体験活動の時間を～



住友生命保険相互会社

放課後の過ごし方に焦点をあて、子供たちへの体験プログラムと大人たちへのプログラムづくり勉強会というスタイルで実施。地域の力で体験プログラムが実施され、継続されることをねらいとしている。

<http://sumiseiafterschool.jp/>



## 生活 文化 「カルピス」 こども乳酸菌研究所」



アサヒ飲料(株)

社員が講師となり「乳酸菌と発酵」をテーマに食の大切さを伝え、ゼロから新しいものづくりの可能性や未来への夢を社員とのディスカッションにより主体的に考えることを目的とする。食育・理科・キャリア教育が複合的に学べる小学生向け出前授業。

<http://www.calpis.info/peace/kids-labo/>



## 生活 文化 NTTドリームキッズ ～ネットタウン2015～



日本電信電話(株)

最新の情報通信(ICT)への理解促進と安心安全に使うための正しい知識の習得、インターネットを利用する際の基本的なマナーや注意点を学習。子供たちの健全なインターネット利用を促進する。

<http://www.ntt.co.jp/news2015/1506/150601b.html>



## 科学 サイエンス・スクール ～科学者たちのルールの授業



MSD(株)

「観察」「予想」「証明」という普遍的なプロセスを「科学者たちのルール」と称し、同プロセスがいのちと健康の分野でいかに大切であるかを児童に考えてもらい、生命や科学に興味を持つきっかけになることを目指している。

<http://www.msd.co.jp/responsibility/study-support/scienceschool/index.xhtml>



## 生活 文化 「手紙の書き方体験授業」支援等 のお手紙プロジェクト



日本郵便(株)

「思いを文字で書いて伝え、やり取りを行う」という手紙の楽しみ、喜びをしっかりと経験していただく。相手を思い浮かべ、相手を思いやる気持ちを育む学習ができるように、幼稚園等～高等学校に支援キットや教材等を提供。

<https://www.schoolpost.jp/>



## 生活 文化 三井物産 「サス学」アカデミー



三井物産(株)

三井物産が国・地域の課題の解決に貢献するべくグローバルに展開する事業の数々を教材とし、未来を担う子供たちが「持続可能な未来を創る力」を主体的に身につけるための学びの場を提供している。

<https://www.mitsui.com/jp/ja/csr/social/education/child/sasugaku/>



## 科学 次世代育成支援プログラム リスーピア



パナソニック(株)

理数の魅力と触れあうための体験型ミュージアム「リスーピア」では、展示による興味喚起を行い、Webで学びを広げ、ワークショップで学びを深めるサイクルを構築。自発的に学び、気づく場を創出し、理数学力の向上や発表を通じたコミュニケーション能力を育む。

<http://www.panasonic.com/jp/corporate/center/tokyo/risupia.html>



平成28年度  
青少年の体験活動推進企業表彰

# 審査委員会 奨励賞 [中小企業部門]

## 生活 文化 林さんちの米作り体験学習 世界一分かりやすい食育授業



(株)林農産

米作りを中心に食育について体験を通して学ぶ。また、お肉のこと、命をいただくということも、保護者も一緒に活動、学習する。子供たちの授業の後には、保護者向けの学習も行い、理解を深める。

<http://www.hayashisancho.co.jp/syokuiku.html>



## 職業 「テレビ東京の校外学習」 ～テレビ局の仕事本物を体験する～



(株)テレビ東京

特定の見学コースは設けず、放送前のスタジオなど社内全体を見学コースにすることにより、臨場感のある職場を子供たちに体験してもらう。子供たちとの交流を通じ、社員の仕事への意欲が増す。

<http://www.tv-tokyo.co.jp/csr/learning/index.html>



## 職業 子ども向け金融経済教室 「りそなキッズマネーアカデミー」



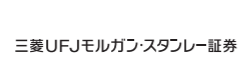
(株)りそなホールディングス

毎年夏休み期間、グループの従業員が講師となり、「お金の流れ」や「お金の役割」「働くことの大切さ」などを楽しみながら学習できる子ども向け金融経済教室を開催。今年で13年目を迎え、受講生は累計28,000名を超えている。

<http://www.resona-gr.co.jp/academy/>



## 職業 株の力



三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)

株式や証券市場・証券会社の機能・役割の理解を通じて、将来を担う次世代が金融リテラシーを高めるための金融経済教育を実施。プレゼンテーションには自社経営陣も参加するなど、会社全体の取り組みとして推進。

<http://eduq.jp/education/stockmarket/>



## 科学 今日からあなたもレジ博士 ～バーコードのしくみ・ レジのしくみを知る～



東芝テックソリューションサービス(株)

レジやバーコードシステムの発展が、人々の働き方や買い物行動に貢献していることを体感する。レジの分解組立や操作説明など、従業員の主要業務を活かし、教える側の学びと再発見も意識しながら、特別支援学校などでも展開中。

[http://www.toshibatec-ttss.co.jp/ttss/csr\\_community.html](http://www.toshibatec-ttss.co.jp/ttss/csr_community.html)



# 広がる企業の体験活動

## 職業 仕事


### キャリア教育プロジェクト ～参加型授業による”キャリア開発”の取り組み～

アデコ株式会社 

自分の強みに気付き、職業を知り、はたらくことへの興味を促すこと。チームワークにより考え抜く力と課題解決力を引き出すこと。地域社会と連携しながら継続させること。3点をベースとし出前授業を実施。  
<http://www.adecco.co.jp/about/csr/career/>

## 職業 仕事


### こども店長～親子でファミマのお仕事体験!～

株式会社ファミリーマート 

店舗での仕事を実際に体験し、働くことの楽しさや大変さ、やりがい、お金を得るといこと、接客を通じたコミュニケーションを学ぶ。保護者の参加も可能なため、家族の交流を深める機会となる。  
<http://www.family.co.jp/company/csr/children/kodomo-tencho.html>

## 職業 仕事

### 「ダンロップスリクソンワールドチャレンジ」 運営体験

ダンロップスポーツ株式会社 

テニスの国際大会のイベント運営補助を通じ観覧者としてではなく、主催者側からの目線で体験してもらい、運営の厳しさや楽しさを肌で感じてもらう。記者とのコミュニケーションを通じて活動内容を深耕してもらった。  
<http://www.dunlop-tennis.jp/>

## 職業 仕事

### 職業体験プログラム「社会の最前線」

フューチャー株式会社 

平成18年よりキャリア教育の一環として、社会に関心を持ってもらうことを目的に実施している小中学生向け職業体験プログラム。職場での仕事体験やトップとの対話をとおして働くことの楽しさ、やりがいを体感する。  
<http://www.future.co.jp/hd/>

## 科学 技術

### 夏休み特別企画 扇橋閘門親子体験会

株式会社建設技術研究所 

普段目にすることのない船上から、街の風景やインフラ施設を学んでいただき、水辺からの視点で都市の防災、環境、街づくりを親子で考えるきっかけづくりとなることを目的としている。  
<http://www.ctie.co.jp/csr/manabu/>

## 科学 技術

### えがいの森基金グリーンプロジェクト 「ハハトコのグリーンパワー教室」

株式会社千趣会 

再生可能エネルギーの種類などを勉強し、グループワークを通して再生可能エネルギーをPRするCMや寸劇を実施。座学だけでなくアクティブラーニングを通して、再生可能エネルギーの理解を促した。  
<http://www.senshukai.co.jp/main/top/csr/>

## 科学 技術

### 「牛肉を食べてもウシにならないのはなぜ？」 しょうか!食べ物消化されるのか!他

株式会社ニッピ 

ゼラチンを消化酵素で分解する実験を通して、体内で食べ物が消化される現象、及び吸収されることによって生命の維持に役立っていることを学び、研究の楽しさに触れてもらうことをねらいとする。  
<http://www.nippi-inc.co.jp/biomatrix/tabid/190/Default.aspx>

## 科学 技術


### 子供・宇宙・未来の会「いしかわ宇宙の学校」

株式会社PFU 

自然や宇宙をテーマとしたスクーリング、家庭学習を実施。同じ地域の親子が共に工作や実験に取り組むことで絆を深め、学校・家庭・地域が一体となった教育を目指している。  
<http://www.pfu.fujitsu.com/>

## 科学 技術


### 「宇宙を旅した大麦」 体験播種、体験収穫イベント

サッポロビール株式会社 

岡山大学との連携により、宇宙を旅した大麦の自然観察や体験播種及び収穫、ネイチャーゲームを通して、科学や宇宙、生物に対する興味をもってもらい、科学マインドの育成をねらう。  
[http://www.sapporoholdings.jp/csr/society/area\\_1.html](http://www.sapporoholdings.jp/csr/society/area_1.html)

## 科学 技術

### エコxエネ体験プロジェクト

電源開発株式会社 

電気がどこで作られるのか、どんな人たちが働き、自然環境とどのように繋がっているのかを、実際の発電所と周囲の自然を活かしたワークショップを行い、エネルギーとエコロジーを大切にすることを育む。  
<http://www.jpowers.co.jp/econe/>

## 科学 技術

### YOKOGAWA理科教室

横河電機株式会社 YOKOGAWA 

理科教育支援によって青少年の理科離れに歯止めをかけ、科学や技術に興味を持つ人材の育成支援活動。独自に開発したキットを教材として使用し、自社技術者を中心に講義・成功体験をサポート。  
<https://www.yokogawa.co.jp/cp/csr/community/japan1.htm>

## 自然 環境

### 大阪ガスの食と住まいの情報発信拠点 「hu+gMUSEUM(ハグミュージアム)」 屋上水田での稲作体験授業

大阪ガス株式会社 

暮らし・環境・地域をテーマに、施設の屋上に設けた水田と畑を使用し、環境体験学習を実施し、農家の仕事や田んぼに住む生き物、社会・環境・食について、実体験を通して学びを得る機会としている。  
<http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/hugmuseum/>

## 自然 環境

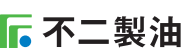
### 「森の探検隊」

日本道路株式会社 

子供時代でしか身につけられない自然への気づきと感性を育む活動。友達と一緒に考える喜び、友達の良さ・自分の良さを発見する喜び、自分の心を表現する喜び、を活動を通して見つけて欲しい。  
<http://www.nipponroad.co.jp/wp/wp-content/themes/nipponroad/img/csr/topics/csr161025.pdf>

## 自然 環境

### 「人と地球の健康を考える」食育プロジェクト

不二製油グループ本社株式会社 

講義だけではなく、おやつ作りや献立づくりカードゲームなど、子供が主体的に参加できるようにし、自分と食の繋がりがや食の大切さ、大豆のちからについて、高い習熟度を得ることが出来た。  
<http://npoafterschool.org/shokuiku/>

## 自然 環境

### 伊賀・エンゼルの森 自然塾&森のようちえん

森永製菓株式会社 

自社保有地の里山を活用し、植物や生き物の生態を学び、野外炊事を通して食への感謝を育むことを目的とし、子供たちの感性に働きかけ、直接体験により自発性や想像力の育成を育む。  
<http://www.morinaga.co.jp/igaangel/>

## 自然 環境

### 『三ツ矢サイダー』ジュニア環境授業

アサヒ飲料株式会社 

安全で安心な飲み物を作るための「水」をテーマに環境問題などについて学びながら、環境保全に取り組んでいくことの大切さを伝える。また、ペットボトルの正しい捨て方から、エコ体験も学んでもらう。  
<http://www.asahiinryo.co.jp/environment/study/>

## 自然 環境

### コスモ石油 「学校の環境教育支援プロジェクト」

コスモ石油株式会社 

千葉県内の手つかずの県有林をNPOとの連携で、里山として保全整備し、近隣の小学生へ環境教育を実施した。事後学習として、調べた生き物について、環境フォーラムで発表をした。  
<https://ceh.cosmo-oil.co.jp/kankyo/index.html>

## 自然 環境

### 豊田川清掃ボランティア活動、 地元小中学生の職場体験学習

浜松ホトニクス株式会社 

河川の清掃活動を通じて地元企業と小中学生の良好なコミュニケーションの醸成、職場体験学習では生徒の職業観を育み、技術開発に魅力を感じ、夢に向かって努力する大切さを知って頂くことを目的とする。  
<http://www.hamamatsu.com/jp/ja/hamamatsu/csr/index.html>

## 自然 環境

### 足尾事業所による勉強会・見学会

古河機械金属株式会社 

足尾の地は「日本の公害の原点」として知られる一方、優れた公害防止技術及び安全第一の発祥の地である。産業の発展には光と影が存在することを知り、自分の街の歴史を理解し愛着を持ち、地域発展に貢献する心を持ってもらいたい。  
<http://www.furukawakk.co.jp/>

## 自然 環境

### ヤンマーミュージアム 2015夏のピオトープ観察会 ～びわ湖にでかけよう～

ヤンマー株式会社 

自社施設屋上のピオトープの使用、周辺の川などの身近な自然の観察を通して、子供たちに生き物や自然・環境に興味をもってもらうきっかけとなることを目指した。  
<https://www.yanmar.com/jp/museum/>

# 広がる企業の体験活動

## 自然環境 大槌学園による「平成の杜」植樹会 および育苗活動

横浜ゴム株式会社



東日本大震災被災地の小中学生が、植樹を通して地域防災、地域を愛する心を育むと共に、環境問題や生態系保全に関心を持つことをねらいとする。また、震災瓦礫を使うことで記憶を風化させない思いも込めている。  
<http://www.y-yokohama.com/release/?id=2612&lang=ja&category=0103&year=2016>

## 自然環境 大湊海岸 鷺が浜 生物多様性保全活動 豊かな浜を目指して!

横浜ゴム株式会社 三重工場



当工場では地下水を使用し河川に放流する。水を通した生物多様性や環境問題に関心をもってもらうため、参加者が毎日見て、遊び場でもある大湊海岸を舞台に学習を実施。その成果を「こども環境フォーラム」にて報告した。  
<http://www.y-yokohama.com/csr/>

## 生活文化 お金に関する体験イベント、金融経済教育セミナー

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社

全国18か所のお客様サービスプラザを主体とし、お金に関する体験プログラムを実施。お金の役割や大切さを学ぶこと、お金に関する正しい知識を習得し、適切な判断ができるための支援を目的とする。  
<http://www.smbc-cf.com/csr/>

## 生活文化 CAMP Children's Art Museum & Park

SCSK株式会社

ワークショップを通し、子供たちの共に創る力を育み、豊かな想像性と表現力、多様性を是とする社会性と高いコミュニケーション力を持った子供たちと共に、夢のある未来を創ることを目指している。  
<https://www.scsk.jp/corp/csr/community/camp.html>

## 生活文化 将棋・囲碁教室及び大会

株式会社関西都市居住サービス

地域の子供たちに将棋・囲碁の楽しさ、奥深さをプロ棋士の協力のもとわかりやすく伝え、広く普及させることを目的としている。17年間にわたり実施しており、地域に根差したイベントとなっている。  
<http://www.kul.co.jp/>

## 生活文化 本とあそぼう 全国訪問おはなし隊

株式会社講談社



全国の保育所や小学校で「読み聞かせ」体験を実施。「本好きな子ども」に育ててほしい、「活字が好きな大人」になってほしいという願いから行っている読書推進事業。  
<http://www.kodansha.co.jp/ohanashi/>

## 生活文化 「アートdeGENKI!!」 サンドで元気!プロジェクト

株式会社日本テレビアート



砂と水だけを使用し廃棄物が出ず、何度もトライできる体験学習。満足するまでチャレンジでき、親子で幸せな時間を共有し、心豊かな子供が増えることを目的としている。  
<http://www.ntvart.co.jp/csr/activity/index15.html>

## 生活文化 ライフプランニング授業

ソニー生命保険株式会社



ライフプランニングの疑似体験を通じて、子供たちに夢や目標を持って生きることのかけがえのなさ、実現するために努力することの大切さ、教育環境を与えてくれる親や社会への感謝を感じてもらう。  
<http://www.sonylife.co.jp/volunteer/lp/>

## 生活文化 子どもアイデアコンテスト

本田技研工業株式会社



未来に“あったらいいな”と思うモノを描き、立体作品として作り上げ、作品を発表することを通じて、夢を持つこと・挑戦すること・モノづくりの楽しさや大切さを実感してもらい、社会的な成長を目指している。  
<http://www.honda.co.jp/philanthropy/ideacontest/>

## 生活文化 ふれあい親子フェスティバル

日本食糧新聞社 関西支社



食への意識を深めたり、家庭での食生活を見直すことや、新たな発見をすることなどを通して、日常の食生活向上に結び付けることをねらいとする。企業と消費者が情報・思い出を共有できる。  
<http://nissyoku-kansai.com/>

## 生活文化 森永リトルエンゼル育成事業 「森と食の探検隊」

森永乳業株式会社



未来を担う子供たちのすこやかな心身の成長を応援するために、大自然の中での直接体験を通して、生きる上で大切なものを自ら発見することをテーマとして、生きる力を育成することを目的としている。  
<http://www.morinaga.com/nasu2015/>

## 生活文化 モノづくり授業「半導体の光 LED」

ローム株式会社



抵抗器と三色に光るLEDを組合せた工作を通じ、光の三原色やLEDの省エネ効果を学ぶ。製品開発に関わる人の努力や思いを知り、新しい技術やモノづくりへの興味、関心を喚起する。  
<http://www.rohm.co.jp/web/japan/csr1>

## 職業仕事 タウンセンター子育て地蔵まつり内 「こども工務店」

株式会社ハウスワン



大工の経験を通じて、地域の子供にもものづくりの楽しさ、喜びをもっと増やしたいという想いと、直接木に触れることで木のぬくもりや優しさを感じて欲しいと考え実施。  
<http://www.house1.co.jp/>

## 自然環境 新報サイエンスクラブ

琉球新報社



児童生徒の科学の芽を育むため、自然や動植物に少しでも興味を持ち、興味を深められるような気づきを促すことをねらいとする。研究状況を自社新聞紙面やWEBで紹介。学力向上や人材育成にもつながるように実施。  
<http://science.ryukyushimpo.jp/>

## 生活文化 墨田区学校支援ネットワーク事業 家庭科の授業・家庭科料理教室 墨田区以外の学校向け食育講演

株式会社玄米酵素



健康を守るのに効果的な食事の選び方、心も体も健康で元氣な生活を送るための食生活、心の安定・集中力・根氣・元氣・体力を高める食事、日本の伝統食である米と発酵食品の大切さを学ぶ食育を実施。  
<http://www.genmaikoso.co.jp/>

## 生活文化 ヒルズ街育プロジェクト

森ビル株式会社



六本木ヒルズなどの実際の街を舞台にした親子向け体験学習プログラム。街づくりのノウハウや街の魅力を、未来を担う子供たちに伝えると共に、楽しく学びながら次世代の都市の在り方を考えるプログラムを実施。  
<https://www.mori.co.jp/machiiku/>



## 自然環境 「浜松ホテルも棲める良い自然プロジェクト」

株式会社フジヤマ



地域の子供たちとともに失われつつある自然を保全・再生し、多様な生物の生息する空間を取り戻すことを目的とする。生物多様性に関する講演会や自然観察会、ホテルの幼虫の育成放流など、環境保全・再生活動を実施。  
<http://www.con-fujiyama.com/>

## 生活文化 「おきなわの観光」意見発表コンクール・ 「おきなわの観光」絵画コンクール

株式会社かりゆし



沖縄の経済には観光業が重要だということの気づきと、文化や歴史、地域特性の伝統芸能にふれることを通じて、観光について考えるきっかけとなり、子供たちが郷土愛を持ち、次世代に繋げていくことを期待し実施。  
<http://www.kariyushi.co.jp/>

## 生活文化 「僕の私のフォーマルウェア」

株式会社東京ソワール



冠婚葬祭を中心とするフォーマルな場合は、装いのマナーと社会性を身につけることができる。ファッションデザイナーを体験できるイメージマップ制作やプレゼンテーションを通じて、ものづくりの楽しさを実感していただくことを目指している。  
<http://www.soir.co.jp/>

## なぜ青少年に体験活動が必要なのか。 「社会を生き抜く力」となるから。



### 家庭や学校の枠を超えた 体験学習に高まる期待



少子・高齢化やグローバル化、情報通信技術の進展、経済活動や雇用活動の急激な変容など、今を生きる子供たちはめまぐるしい時代の変化の渦に飲み込まれているといっても過言ではないだろう。このような時代を生き抜くために求められるのは、コミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、変化に対応する力、異なる他者と協働する力である。

子供たちがこれからの社会を生き抜く力を身に付けていくには、多様な人々との関わることや多様な経験を積み重ねていくことが必要である。その一つとして、家庭や学校の枠を超えた様々な体験を通じて学習する「体験活動」に期待が高まっている。近年では、地元の企業や団体が、それぞれが持つ人材、資産、本業におけるスキル等を活かしながら体験活動の場を提供する例も増えている。

### 家庭、学校、地域が 手を携えた体験活動を



未来ある子供たちにとって体験活動は大変重要なものとなっているが、近年の都市化、少子化、電子メディアの普及等により、青少年の体験活動の場や機会が少なくなっているとの指摘がある。また、保護者自身の体験の多寡や経済力、地域の情報力、学校の判断等が子供の体験活動の機会に影響を及ぼしているとも言われている。このような中、もはや家庭だけ、学校だけにこれらの問題の対応を望むことは難しく、家庭、学校、地域が手を携えて教育的見地に立って子供の体験活動の場を提供することが必要となっている。



### 今後の青少年の 体験活動に向けて



「青少年の体験活動推進企業表彰」は中央教育審議会答申『今後の青少年の体験活動の推進について』（H25.1.21）を受けて始まった。今回で4年目を迎えたが、応募内容も年々充実してきており、企業の、青少年の体験活動への理解が確実に深まっていることが見て取れる。今後の取組に大いに期待したい。

繰り返しになるが、子供にとって多様な経験を積み重ねることは、これからの社会を生きる上で大変重要なものである。同時に、青少年の体験活動に関わる企業、活動の場となる地域にとっても有益なものになる。それは、企業にとっては社会的な信頼を増やし、地域にとっては、地域の良さを再発見する機会となるものだからである。

今後、青少年の体験活動を更に広げ、充実させていくためには、国や地方公共団体等と企業・団体との連携を強め、積極的に働きかけることが何よりも重要である。

本冊子では、応募のあった63事業の取組を掲載した。活動の内容や企業と自治体、地域との連携など、これからの取組の参考となれば幸いである。

## 企業の中で 青少年に多様な体験活動の機会を

### 青少年の体験活動推進企業表彰

[平成28年度]

63事業の応募があり、文部科学大臣賞が2件(大企業部門1件、中小企業部門1件)、審査委員特別賞が4件(大企業部門3件、中小企業部門1件)、審査委員奨励賞18件(大企業部門17件、中小企業部門1件)、選ばれた。本冊子は63事業の優れた実践を紹介している。

[表彰の目的]

社会貢献活動の一環として青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を表彰し、全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の推進を図る。

[表彰の対象]

企業がCSRや社会貢献活動の活動として主催し、参加する青少年を公募して実施したもの。平成28年度表彰は平成27年4月1日～平成28年3月31日に実施された体験活動を対象にした。

[これまでの実績]

平成25年度から表彰を開始。初年度の文部科学大臣賞は、(株)リコーの「市村自然塾」。小学4年生から中学2年生が9か月間、隔週末に2泊3日の共同生活をして、農作業や星座観察などに取り組む。参加者は共に汗を流し、考え、ルールを守る体験を通じ、自ら成長する。異年齢の青少年の長期にわたって体験を提供する点などが評価された。平成26年度の文部科学大臣賞は、アサヒビール(株)の「日本の環境を守る若武者育成塾」。高校生チームが夏合宿の体験で得た学びを踏まえ、地域の課題解決のためのアクションプラン立案・実践、成果発表に至る半年間のプログラム。主体的、協働的に学ぶ「アクティブラーニング」であることで、地元で継続される点などが評価された。平成27年度の文部科学大臣賞は大企業部門、中小企業部門に分かれた。大企業部門はパナソニック(株)の「映像制作支援プログラム キッド・ウィットネス・ニュース(KWN)」。子供自身の目線で物事をとらえ発信していく活動。映像制作を通じて表現力やコミュニケーション能力を高めることを目的とし「考える力」「まとめる力」「伝える力」「チームワーク力」を養っている点などが評価された。中小企業部門は(株)金沢大地の「コープ農園 大豆・味噌づくりコース」。オーガニック大豆の種まきから収穫するまでの農作業と、自分たちが育てた大豆を活かした石川県産原材料100%の味噌づくりの加工まで、一連の流れを継続して体験することにより、地元の食や旬、生物の多様性、有機農業を身近に感じる学びの場を創出している点などが評価された。

青少年の体験活動推進

検索

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/ikusei/taiken.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/taiken.htm)